

## 義認とは何か

1 コリ 15：3～5

### イントロダクション

(1) ある方から、なぜ日本の宣教は進まないのかという質問があった。

①ひとつの理由は、クリスチャンライフが必ずしも喜びになっていないということ。

\*救われたという喜びがない。

\*神は愛というより、罰や試練を与える方である。

②律法主義的生活で苦しんでいる。

③聖書は難解であるという印象がある。

④世界観としてのキリスト教を提示できていない。

(2) 今回は、基本的なメッセージを語る。

①福音とは何か。

②つまり、何を信じたら救われるのか。

(3) アウトライン

I. 福音の内容

II. 救いに至る信仰

III. 不必要な付加物

このメッセージは、福音とは何かを説明するものである。

### I. 福音の内容

#### 1. パウロの証言

(1) 1 コリ 15：3～5

1Co 15:3 私があなたがたに最もたいせつなこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書の示すとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、

1Co 15:4 また、葬られたこと、また、聖書の示すとおりに、三日目によみがえられたこと、

1Co 15:5 また、ケパに現れ、それから十二弟子に現れたことです。

#### 2. 福音の3要素

(1) キリストは、私たちの罪のために死なれた。

①ここには、聖霊による認罪の働きがある。

Joh 16:8 その方が来ると、罪について、義について、さばきについて、世にその誤りを認めさせます。

②罪とは、不信仰の罪である。

③聖霊による認罪の働きの結果、人は福音に心を開く準備ができたことになる。

(2) キリストは、葬られた。

①埋葬の事実は、キリストが肉体的に完全に死んだことを示している。

(3) キリストは、三日目によみがえられた。

①復活は父なる神がイエスの贖罪死を受け入れてくださったことの証拠である。

②ロマ 4：25

Rom 4:25 主イエスは、私たちの罪のために死に渡され、私たちが義と認められるために、よみがえられたからです。

## II. 救いに至る信仰

### 1. 知識

(1) ロマ 10：17

Rom 10:17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみことばによるのです。

①救われるためには、福音の内容を理解しなければならない。

### 2. 同意

(1) ヤコ 2：19

Jas 2:19 あなたは、神はおひとりだと信じています。りっぱなことです。ですが、悪霊どももそう信じて、身震いしています。

①知識と同意だけでは、人は救われない。

②信じない理由は、「信じたくないから」と言う人がいる。

### 3. 信頼

(1) ロマ 3：22

Rom 3:22 すなわち、イエス・キリストを信じる信仰による神の義であって、それはすべての信じる人に与えられ、何の差別もありません。

①イエス・キリストをそのようなお方、救い主として信頼すること

(2) ロマ 4：24

Rom 4:24 また私たちのためです。すなわち、私たちの主イエスを死者の中からよみがえらせた方を信じる私たちも、その信仰を義とみなされるのです。

### Ⅲ. 不必要な付加物

#### 1. 公の場での告白

##### (1) ロマ 10:9~10

Rom 10:9 なぜなら、もしあなたの口でイエスを主と告白し、あなたの心で神はイエスを死者の中からよみがえらせてくださったと信じるなら、あなたは救われるからです。

Rom 10:10 人は心に信じて義と認められ、口で告白して救われるのです。

(2) 公の場での告白を、救いの条件とする教えがある。

①これは、業による救いとなる。

②上記の聖句は、キアズムである。

\*告白と信じることは、同時に起こる。

③告白は、神に対する無言の言葉であるという場合もある。

#### 2. 罪の告白

##### (1) 1ヨハ 1:9

1Jn 1:9 もし、私たちが自分の罪を言い表すなら、神は真実で正しい方ですから、その罪を赦し、すべての悪から私たちをきよめてくださいます。

(2) この聖句は、救いの方法を教えたものではない。

①ヨハネの手紙は、信者に向けて書かれたものである。

②これは、信者の罪の処理に関する教えである。

(3) 罪の告白を救いの条件とすることの問題点

①自分が犯した罪をすべて覚えている人などいない。

②すべての罪を告白することが救いの条件であるなら、救いは不可能である。

#### 3. 洗礼

##### (1) 使 2:38

Act 2:38 そこでペテロは彼らに答えた。「悔い改めなさい。そして、それぞれ罪を赦していただくために、イエス・キリストの名によってバプテスマを受けなさい。そうすれば、賜物として聖霊を受けるでしょう。

(2) ここには、訳語の問題がある。

①「エイス」という前置詞は、「〇〇のために」と訳されている。

②これは、「〇〇のゆえに」、「〇〇だから」とも訳せる。

③「罪が赦されたのだから、バプテスマを受けなさい」という訳が正しい。

④もし洗礼が救いの条件なら、それは業による救いとなる。

#### 4. 悔い改め

(1) 悔い改めとは、心の変化である。

- ①啓示された真理に対して
- ②キリストに関する理解に対して
- ③罪に対して
- ④それは、罪を悲しむこととは違う。
- ⑤悔い改めは、信じるという行為の中に含まれている。

(2) 1テサ1:9

1Th 1:9 私たちがどのようにあなたがたに受け入れられたか、また、あなたがたがどのように偶像から神に立ち返って、生けるまことの神に仕えるようになり、

#### 5. メシアの主権に従う（ロードシップ論）

(1) イエスをメシアとして信じるだけでなく、メシアの主権に従う必要がある。

(2) ロマ12:1~2

Rom 12:1 そういうわけですから、兄弟たち。私は、神のあわれみのゆえに、あなたがたにお願いします。あなたがたのからだを、神に受け入れられる、聖い、生きた供え物としてささげなさい。それこそ、あなたがたの霊的な礼拝です。

Rom 12:2 この世と調子を合わせてはいけません。いや、むしろ、神のみこころは何か、すなわち、何が良いことで、神に受け入れられ、完全であるのかをわきまえ知るために、心の一新によって自分を変えなさい。

- ①この聖句は、救いの条件を教えているのではない。
- ②すでに救われた者に、弟子となるための条件を教えている。

結論：

- 1. 救いは、信仰と恵みによって与えられる。
- 2. それ以外のものを付加するのは、「別の福音」を伝えることになる。